

鶴岡市ボランティアセンターだより



映画と福祉のコラボ

「山王キネまち大学2023」



令和5年3月、再生オープンされた映画館「鶴岡まちなかキネマ」を拠点に5月からスタートした「山王キネまち大学2023」。

その取組の中で、山王商店街、NPO 法人公益のふるさと創り鶴岡、鶴岡市社協が協力して取り組む、映画と福祉のコラボ事業が7月からスタートしました。「まちキネ」で初めて映画を観たという福祉関係の人、「福祉」の取組に初めて参加したという映画ファンなど、この取組が新たな人と人とを繋ぎきっかけとなり地域の活性化の一翼を担い始めています。

映画「ケイコ 目を澄ませて」と
聴覚障がいを理解する体験コラボ！

「ケイコ目を澄ませて」は、聴覚障がいがある女性がプロボクサーになった実話をもとにつくられた映画。世界中の映画祭で絶賛された注目の映画です。

コラボ事業は7月2日(日)、「手話で会話をしてみよう体験」を行いました。講師をお願いした聴覚に障がいがある渡部佐一さんは、会社員で学校での福祉学習等の講師としても活躍しています。この日は、手話サークルの仲間たちや手話通訳者の協力で、聴こえないということはどういうことか、そしてどんなサポートが好ましいのかを知ってもらい、挨拶や映画に関する手話を体験。皆さんとても熱心に手を動かしていました！

映画「こころの通訳者たち」と
トークショー&ピアノ演奏会！

「こころの通訳者たち」は、ある演劇を耳が聴こえない人に伝えるように、目が見えない人にも伝えたい。それも、言葉だけでなくその場の雰囲気や役者の想いや表情なども…。そのことに挑戦した東京都田端にある小さな映画館「シネマ・チュブキ・タバタ」の取組を追ったドキュメンタリー映画です。

コラボ事業は、7月22日(土) 23日(日)に映画関係者のトークショー、特に、映画出演した視覚に障がいがある石井健介さんの明るいキャラクターに会場は大爆笑。また23日は、鶴岡で福祉学習などに協力している視覚に障がいがある高橋佑輔さんの、素敵なピアノ演奏会も行いました。「障がい」に対する見方が、大きく変化した人もいたようです。

映画「30 (さんまる)」と
監督とのトークディスカッション！

「30 (さんまる)」は、兵庫県神戸市で30代の人たちを中心に運営されている、多世代型シェアハウス「はっぴーの家ろっけん」を、鈴木七冲監督が3年間追いつけたドキュメンタリー映画。制度の枠だけに縛られず、その人の日常に寄り添いながら関わる若者たちの柔軟さと「心」に、はっとさせられる映画です。



8月26日(土)は、鶴岡市内福祉関係者研修会として開催し、鈴木監督とのトークディスカッション。27日は、誰でも参加できる通常の形で監督のトークショーを行いました。監督がこの映画をつくった想いの一つには、今後の少子高齢社会が進む日本の社会にとって何が大切なのか…を皆で考えていきたいというメッセージが込められている。

参加した皆さんが、「30」を観て感じたこと、これから自分たちも実践してみようと思ったことなど、皆さんの想いを、鶴岡市社会福祉協議会のホームページに掲載する予定です。ぜひ、チェックしていただき、これからの鶴岡の福祉や介護を「オール鶴岡」で考えていきましょう！ <各コラボ事業での手話通訳、パソコン要約筆記通訳に感謝します>

中学生バージョン 認知症サポーター養成講座

～5/18・19 鶴岡市立第三中学校1年生 174名～



▲先生熱演の寸劇！

今年の福祉学習初日は、花笠ほ一ぶ隊に講師をお願いして「知的・発達障がいを理解する学習」。2日目はボランティア団体つるおかオレンジサポートの会と2つの地域包括支援センター(健康園・なえづ)の協力で、三中では初めて「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

認知症の人への関わり方を、グループごとに一生懸命話し合っている姿は「これからの鶴岡を託していける若者がたくさんいるぞ!」と思わせてくれました。

▲オレンジサポートの会
中嶋さんの講義！



「おだがいさま」の気持ちで活動！

豪雨被害の秋田市でボランティア活動



線状降水帯が少しずれたら…

7月、秋田県内で広範囲にわたり大きな被害が発生した水害。近年は毎年のように全国各地でみられる線状降水帯が、秋田県内にかかり続けたことで大きな被害をもたらしました。

線状降水帯、大型台風、集中豪雨等々は、気象状況によっては日本のどこが被害を受けてもおかしくなく、線状降水帯が少しずれたら鶴岡市が被災地になっていたのかもしれない。ボランティアの皆さんは、そんなことを話題にしながら「おだがいさま」の気持ちで活動しておりました。



ボランティア受付はQRコード読取りでスムーズ！

今回の秋田市災害ボランティアセンターでは、開所してしばらくしてからQRコード読取りによる受付を取り入れて、朝の混雑解消を図っていました。成果は出ていた模様！

「災害被災地支援応援隊」登録者が活動！

今回は、マイクロバスで入れる現場が少なく、少人数で活動に向かえるワゴン車や乗用車で来てほしいとのこと。この状況、広くボランティアを募集せず、NPO 法人鶴岡災害ボランティアネットワークに事前登録している個人、団体、企業に呼びかけて活動を行いました。

8月2日(水)、5人が活動した地区は水位2mを超える被害があり、1階の家財道具や自家用車はもう使えない状況でした。搬出できずにいた家具等をみんなで外に運び出す姿に、被災した方から「ありがたくて涙がでます」という声が聞かれました。1日も早く普段の生活に戻れることをお祈りいたします。



登録している企業の若手社員たちも！

8月29日(火)は、鶴岡市内の(株)ミウラカーズ・ワンの若手社員20名が、4台の車で秋田市に向かってくれました。現地の厳しい状況や被災した方々に触れて、様々な学びもあったと報告をいただきました。これからも、よろしく願いいたします。

講座・イベントお知らせ

○NPO法人しえばより (ボラセン登録団体)

チャイルドライン庄内開設記念講演会

～子どもを社会のまんなか～

- ・日 時 9月24日(日) 9:30～11:30
 - ・会 場 鶴岡市総合保健福祉センター にこ♥ふる
 - ・講 師 子ども家庭庁成育環境課 課長補佐 阿南 健太郎さん
 - ・定 員 30名
 - ・受 講 料 1,000円 (当日会場へご持参下さい)
 - ・申込期限 9月15日(金) 延長の可能性もあり
- <問合せ・申込先> NPO 法人しえば
〒997-0035 鶴岡市馬場町1の6
電話 080-5845-8253
メール syva2018@yahoo.co.jp



ボランティア募集

○学生の保育園での活動(随時)

※鶴岡市民間保育園協議会より

- ・活動場所 鶴岡市内の各保育園
- ・対 象 高校生、高専生、大学生等の学生
- ・申 込 み ①活動希望の保育園がある場合
→直接その保育園に相談可能
②活動希望の保育園がない場合
→鶴岡市ボランティアセンターで一度お話しを聞いて同協議会へおつなぎします。



○第27回ジャパンソフトバレーボール 鶴岡フェスティバル 単発ボランティア

- ・日 時 11月4日(土)、5日(日) 10:30～14:00 (集合10:30)
- ・活動場所 小真木原総合体育館
- ・活動内容 参加者の昼食準備等 弁当仕分け、チームへお渡し、片付け
- ・募集人数 3名程度
- ・その他 昼食を準備します。内履き不要。
- ・申 込 み 10月6日(金)まで 鶴岡市教育委員会スポーツ課 小真木原総合体育館内(担当松浦さん) 電話 0235-25-8131

鶴岡市が「心配りチェックリスト」作成

まずは市主催イベントをユニバーサルデザイン化

今年度、市役所政策企画課が中心になって「誰もが楽しく参加しやすいイベント作りのための心配りチェックリスト」が作られました。

公共施設等で実施される市主催の各種事業を、障がいの有無に関係なく誰もが参加しやすい環境にするために、必要な事項が盛り込まれており、作成にあたって市社協でも協力をさせていただきました。



できることから取り入れていこうと、6月3日に中央公民館で行われた「酒井家庄内入部400年記念事業」の歴史講演会では、手話通訳・要約筆記通訳の情報保障を取り入れておりました。

<らくがき> この夏は、まさしく「地球沸騰化」による来る日も来る日も猛暑の連続でした。環境破壊の原因は、近代の物質による豊かさ追及による結果なのか…それとも生きている地球の歴史のひとつなのか。私たちは将来の人たちに何を残してあげられるだろうか…「30(さんまる)」の鈴木七冲監督の想いを、多くの人たちに伝えていこうと改めて思うのです。(T)

鶴岡のボランティア団体等の活動紹介パネル展

～市民憲章運動推進第57回全国大会鶴岡大会開催時～

- ・月日 10月21日(土)
 - ・場所 荘銀タクト鶴岡 1階フロア
- ホールでは、アトラクション、鼎談、庄内農業高校生等の活動発表もあり、誰でも参加できます(13:20～16:40入場無料)